

事後評価調書

I 事業概要																				
事業名	農業農村整備事業（緊急農地防災事業）																			
地区名	植田の池地区																			
事業箇所	新城市庭野地内																			
事業のあらまし	<p>新城市の南部に位置する植田の池は、約 2.0ha の農地にかんがい用水を供給している農業用ため池である。</p> <p>しかしながら、植田の池は余裕高が不足するとともに、堤体からの漏水がみられるなど老朽化が進行しており、洪水吐の能力も不足していることから、放置すれば豪雨等により決壊し、下流の農地や農業用施設、住宅、寺社等に甚大な被害を及ぼす危険性があった。</p> <p>このため、老朽化したため池の堤体や能力不足の洪水吐を改修することにより、決壊等による災害を未然に防止し、農業経営と民生の安定を図ることを目的に、2013 年度から緊急農地防災事業を実施し、2016 年度に完了した。</p>																			
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>老朽化したため池を改修し、決壊による農地、農業用施設及び公共施設等の被害を未然に防止する。</p> <p>（基準雨量 76 mm/hr、1/200 年確率雨量）</p>																			
事業費	事業費		内訳																	
	0.9 億円		■工事費 0.8 億円、□用補費 百万円、■その他 0.1 億円																	
事業期間	採択年度	2013 年度	着工年度	2013 年度	完成年度	2016 年度														
事業内容	ため池改修 1 箇所（堤体工 1 か所、取水施設工 1 か所、余水吐工 1 か所）																			
II 評価																				
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了からの 5 年間では、2018 年 9 月 30 日に最大 1 時間雨量 48.5mm を観測したが、農地や農業用施設、公共施設等の被害は発生していない。</p> <p style="text-align: right;">新城観測所降雨データ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大 1 時間雨量</td> <td>76.0mm</td> <td>27.5mm</td> <td>45.0mm</td> <td>48.5mm</td> <td>44.0mm</td> <td>29.5mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大 1 時間雨量は計画基準雨量以下であるが、決壊等による被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2016	2017	2018	2019	2020	最大 1 時間雨量	76.0mm	27.5mm	45.0mm	48.5mm	44.0mm	29.5mm
	区分	計画	2016	2017	2018	2019	2020													
最大 1 時間雨量	76.0mm	27.5mm	45.0mm	48.5mm	44.0mm	29.5mm														
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																			
III 対応方針																				
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。																			
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。																			
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。																			